

持続可能な社会の実現に向けて

「ごみ処理基本計画(案)」にご意見を

市では、食品ロスの削減やプラスチック資源の循環など、ごみの減量や資源の活用によって循環型社会の確立を目指す「舞鶴市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(令和3~12年度)の策定を進めています。

このたび、計画案がまとまりましたので、市パブリック・コメント手続制度(市民意見提出制度)に基づき、市民の皆さんから意見を募集します。

【提出方法】

様式は自由。住所、氏名、電話番号を記載し「舞鶴市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(案)に関する意見」と明記し、郵送か持参、ファクス、市ホームページ問い合わせフォームで生活環境課へ。匿名、電話、口頭による意見は受け付けません。

【募集期間】

3月23日(火)まで

【計画案の公表場所】

生活環境課、市政情報コーナー、西支所、加佐分室、中・東・西・南公民館、大浦・城南会館、東・西図書館。市ホームページにも掲載。

【提出された意見の取り扱い】

提出された意見などを考慮して最終案を作成。また、意見の概要と意見に対する市の考え方を整理し公表します(氏名などは公表しません)。

▼詳しくは、生活環境課(☎66・1005)へ。

「ごみ分別ルールブック」を作成

令和3年度版「舞鶴市ごみ分別ルールブック(A4判、32ページ)」を作成。3月24日(水)の新聞折り込みで配布します(希望者には無料で郵送)。広報まいつるを郵送している市内の人には4月号(同封)。生活環境課や西支所総務・税務係、加佐分室などでも同日から配布。

「ごみの分別方法・処分方法や収集日程」などを掲載しています。

▼詳しくは、生活環境課(☎66・1005)へ。

便利なデータ版も発行



基本理念

地域みんなで3R

誰もが住みやすい
持続可能なまち舞鶴

基本方針 3Rの推進

循環型社会の基本原則3R(リデュース:ごみの減量、リユース:再使用、リサイクル:資源化)を、市民・事業者・行政が一体となって推進します。

- ◆食品ロスの削減
- ◆プラスチックごみの減量・資源化・適正排出
- ◆リユース(再使用)の取り組み
- ◆紙ごみの減量・資源化
- ◆その他の取り組み

住み続けられる持続可能な地域

ライフスタイルの変化や高齢化など地域社会を取り巻く状況が変化するなかでも、3Rやごみの適正な排出に取り組める仕組みづくりを行います。

- ◆ライフスタイルの変化や高齢化への対応
- ◆ごみの適正処理
- ◆公平な受益者負担の実現

市民・事業者・行政が連携・協力して取り組む

「ごみ」や「環境」に関する問題は、全ての人に共通する問題。地域課題や行政の施策について市民・事業者・行政が交流し、情報共有する機会を確保し、連携・協力してパートナーシップで取り組みます。

- ◆ごみのことを知る・学ぶ
- ◆連携協力と役割分担
- ◆コミュニティの維持・活性化

※訂正…広報まいつる1月号の16ページで、可燃ごみ(事業用)の手数料について「75%、700円」と記載しておりましたが、正しくは「70%、700円」でした。お詫びして訂正いたします。

目標

令和12年度までに ごみの排出量を1人当たり 1日50g削減

令和元年度の市民1人1日当たりのごみ排出量は884g。中間目標として、令和7年度までに849g、最終的には834gとし、10年間で50g、6%削減を目標にしています。7月から開始するごみ処理手数料の見直しもごみの減量や資源化推進に向けた取り組みの一環です。



▲マイバッグの活用など身近なことから始めよう

SDGsの目標達成に向けて 1人ひとりの協力で 持続可能な社会の実現を

SDGsとは、国連が定めた「2030年までに達成すべき持続可能な開発目標」のことです。買い物の際にレジ袋をもらうことは、石油資源の無駄遣いや海洋汚染の原因に。食料の買いすぎや廃棄は、資源の乱獲、生産物流過程でのCO2の排出、不要な飼料や農薬の使用などの無駄を発生させています。本計画は、SDGsの目標達成に向け、ごみの削減と資源の節約を目指しています。



ごみ排出量削減に向けて私たちにできること

食品ロスの削減 1人1日11g削減

- ◆買い物前に冷蔵庫内をチェックし、使うだけ買う
- ◆なるべく手前に陳列しているものを選ぶ
- ◆賞味期限と消費期限の違いを理解する
- ◆早く傷みそうな食材から使う など



▲食パン1/4枚=約11g

調理くずの削減 1人1日7g削減

- ◆調理時に過剰除去しないようにするなどの工夫
- ◆生ごみを捨てる時はしっかり水切りをする
- ◆家庭菜園をしている人などは堆肥にする



▲レタスの葉1枚=約7g

紙類の削減 1人1日5g削減 12g分別

- ◆食品の箱やチラシなどの雑紙を分別する
- ◆買い物の際、過剰梱包にならないようにする
- ◆ペーパーレス・デジタル化で紙ごみが出ないようにする



▲菓子の箱=約15g

プラスチック容器包装類・ペットボトルの削減

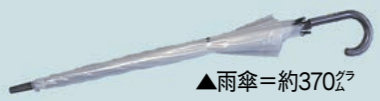
- ◆使い捨てのプラスチック製容器包装・袋類を必要に使用しない
- ◆詰め替え商品を選んだり簡易包装にしたりする
- ◆マイボトル・マイバッグの持参 など



▲お菓子の袋=約11g

埋立ごみの削減 1人1日2g削減

- ◆長く使えるものを買う、使い捨てはなるべくしない
- ◆フリーマーケットなどを活用し、長く使っていないものや不要なものは必要とする人に使ってもらう



▲雨傘=約370g

事業系ごみの削減

- ◆シュレッダー古紙など資源化可能な紙は分別し資源化
- ◆プラスチック製包装類は産業廃棄物として処理
- ◆食品ロス、食品くずの出ない取り組みを行う など